

2026 年 10 月 15 日

株式会社タナベコンサルティング

経営戦略と連動し、企業価値を社会的評価へ転換 「戦略 PR コンサルティング」提供開始 経営課題を起点に、第三者視点で企業価値を高める

日本の経営コンサルティングのパイオニアである株式会社タナベコンサルティング（本社：東京都千代田区・大阪市淀川区、代表取締役社長：若松 孝彦）は、「戦略 PR コンサルティング」の提供を開始いたします。



1. 開発の背景

情報が溢れ、自社の商品・サービスだけでは差別化しにくい市場環境の中、生活者・求職者・取引先は、企業の理念・姿勢・社会との関わり・将来性まで含めて企業を評価する傾向が高まっております。広報・PR は、企業価値を社会的評価へ転換するための重要な経営機能です。特に中堅企業においては、自社の強みや独自価値を有していても、「誰に・何を・どのように伝えれば、信頼や共感を獲得でき、さらに事業成果にまでつなげられるか」まで整理できていないケースが多くあります。発信が単発にとどまり、戦略・体制・運用が未整備なまま場当たりの PR 活動が続けている企業も少なくありません。今求められているのは、経営戦略と連動しながら企業価値を継続的に伝え、それを社会的評価へ転換していく「戦略広報・PR」です。

2. 「戦略 PR コンサルティング」について

本コンサルティングは、採用・営業・認知向上などの経営課題を起点に、自社の強みや独自性を棚卸しし、PR コンセプトの策定から発信基盤の構築、PR 活動の実行・結果分析、次年度設計までを一貫して支援いたします。単なる露出獲得にとどまらず、経営戦略と連動した「戦略広報・PR」を組織に定着させ、以下 3 つの支援テーマを軸に、第三者発信を通じた企業価値向上を実現いたします。

（１）企業として伝えるべき価値や方向性の明確化

経営課題を起点に自社の強みや独自性を棚卸しし、外部からの認知と社内認識の差異も踏まえて発信の基本方針を定義いたします。

（２）社会に対して一貫性のある価値を届ける基盤づくり

社内の認識統一、関係部門との連携・役割分担の明確化を通じて、場当たりの発信から脱却し、戦略 PR を継続的に機能させる体制を構築いたします。

（３）認知と信頼の向上を通じた企業価値向上への寄与

社会やステークホルダーとの信頼関係を構築・蓄積する取り組みとして位置づけ、継続的な情報発信を通じて採用力や営業活動の支援につなげてまいります。

３．本サービス推進責任者



株式会社タナベコンサルティング ブランド&PR コンサルティング事業部

チーフマネジャー 戸塚 紘平

メーカーや IT 企業の BtoB を中心としたブランド戦略構築、PR 戦略などのコンサルティング実績を活かし、クライアントのブランド価値最大化の支援を行う。販売促進に必要なクリエイティブや動画制作などのアウトプットにも明るく、上流部分の戦略構築から、戦術的な実装部分までクライアントの取り組みをトータルでサポートできることが強み。

【タナベコンサルティンググループ（TCG）について】

TCG は、1957 年創業の東証プライム市場に上場する日本の経営コンサルティングのパイオニアです。「企業を愛し、企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕する」という経営理念のもと、未来の社会に向けた貢献価値として「その決断を、愛でささえる、世界を変える。」というパーパスを掲げております。現在は、グループ 9 社、1,000 名以上のプロフェッショナル人材を有する経営コンサルティンググループとなり、国内外の中堅企業を中心とした大企業から中規模企業のトップマネジメント（経営者層）を主要顧客とし、創業以来 22,100 社以上の支援実績を有しております。

トップマネジメントアプローチで経営戦略の策定からプロフェッショナル DX/AX サービスによる経営オペレーションの実装・実行まで、チームコンサルティングにより経営の上流から下流までを一気通貫で支援する唯一無二の経営コンサルティングモデルを国内地域密着のみならず、グローバルへと展開しております。



【企業概要】

社 名：株式会社タナベコンサルティンググループ
代 表：若松 孝彦（代表取締役社長）
創 業：1957 年 10 月 16 日
資 本 金：17 億 72 百万円
売 上 高：162 億 82 百万円 ※2026 年 3 月期
営 業 利 益：18 億 13 百万円 ※2026 年 3 月期
総 人 員 数：1,031 名（グループ全体）※2026 年 10 月 1 日現在
上 場 市 場：東京証券取引所プライム市場
本社所在地：東京都千代田区丸の内 1-8-2、大阪市淀川区宮原 3-3-41
事務所展開：名古屋、福岡、札幌、仙台、新潟、金沢、広島、沖縄